

盛岡市監査委員告示第 37 号

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 199 条第 1 項、第 2 項及び第 4 項の規定により行った定期監査の結果の報告を次のとおり公表する。

平成 27 年 10 月 1 日

盛岡市監査委員 工 藤 由 春
同 菊 池 秀 一
同 佐 藤 敬 三
同 八木橋 美 紀

第 1 監査の対象及び監査実施年月日

定期監査の対象は環境部である。うち、次の部課等を实地監査の対象として監査を実施した。

実地監査対象部課等	監査実施年月日
【環境部】 資源循環推進課 クリーンセンター	平成 27 年 8 月 26 日から同年 8 月 28 日まで 平成 27 年 8 月 31 日から同年 9 月 1 日まで

第 2 監査の範囲

平成 26 年度の事務の執行

第 3 監査の方法

实地監査の対象としない部署においては、平成 27 年度監査実施計画及び監査資料等に関する要領（48 盛監発第 24 号）に基づき提出された監査資料について、实地監査の対象とした部署においては、同監査資料と監査実施の指定日に提出された各課等の予算の執行に係る各種文書、会計帳票、証拠書類、現金の出納保管並びに財産、債権及び基金の記録管理その他の事務に係る文書について、事務の執行が法令等に基づき、適正かつ効率的に行われているかに主眼を置き、一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠し、通常実施すべき監査手続きによりその内容を調査照合するとともに、必要に応じ、その都度担当職員から説明を聴取して適否の確認を行った。

第4 監査の結果

事務の執行は、関係法令及び条例・規則並びに議会の議決その他の定めるところに基づきおおむね良好と認められたが、各課等の一部の事務処理について、別紙に掲げる事項が見られたので適切に措置されたい。

なお、監査の執行過程において、各課等の担当職員等に対し、その旨指示したところであるが、所管する業務に対する認識を深められ、事務事業の適正かつ効率的な執行が確保されるよう配慮されたい。

別 紙

I 環境部

資源循環推進課

【指摘事項】

- 1 補助金の交付に当たり、精算が行われていない事例が見られたので、適正な事務の執行を求める。

【注意事項】

- 1 資源物売払代金の収入調定に当たり、代金算定のための確認書類が作成されていない事例が見られたので、適正な事務の執行を求める。
- 2 資源物売払の売買契約に当たり、契約単位と計測単位が一致していない事例が見られたので、適正な事務の執行を求める。

クリーンセンター

【指摘事項】

- 1 行政財産の使用料の算定に当たり、誤った積算方法により使用料を算出している事例が見られたので、適正な事務の執行を求める。
- 2 修繕請負契約に当たり、業務の第三者委託について市長の事前承認を受けていない事例が見られたので、適正な事務の執行を求める。